

令和3年度岡崎市水循環推進協議会 書面会議録

1 書面提出期限

令和4年2月18日(金)

2 参加委員の氏名

学識経験を有する者	井上 隆信	学識経験者(豊橋技術科学大学教授)
	蔵治 光一郎	学識経験者(東京大学大学院教授)
	武田 美恵	学識経験者(愛知工業大学准教授)
	冨永 晃宏 (会長)	学識経験者(名古屋工業大学名誉教授)
	長谷川 明子	学識経験者(ピオトープ・ネットワーク中部会長)
	丸山 泰男	学識経験者(愛知県環境部元技監)
関係団体	天野 博	矢作川沿岸水質保全対策協議会参与
	大島 康司	菅生川を美しくする会会長
	片岡 喜幸	鳥川ホタル保存会会長
	眞木 宏哉	岡崎森林組合長
	山本 清美	岡崎市漁業協同組合
公募した市民	稲打 八郎	
	沖 章枝	
	近藤 忠彦	
	谷地 俊二	
行政関係者	酒井 佳治	国土交通省豊橋河川事務所 副所長
	多田 芳隆	愛知県西三河建設事務所 河川港湾整備課長

3 議事事項

(議題) 岡崎市水環境創造プランの令和2年度実施状況について
「岡崎市水環境創造プラン」の進捗状況について確認を受けた。

[協議結果]

別紙「令和2年度実施状況に関する御意見と回答」のとおり

会議資料

- 1 令和2年度年次報告書(案)
- 2 水環境創造プラン プロック別水質目標達成状況(令和2年度)

令和2年度実施状況に関する御意見と回答

区分	No.	重点施策	行動主体 岡崎市	意見（質問）	回答
井上委員 一覧表	-	-	-	各施策の横棒の終点がR2の最後まで伸びていないものがありますが、何か意図があるのでしょうか。	計画年度（H26～R2）の途中で事業が完了したのものについてはその時点で横棒をとめております。（事務局）
長谷川委員 全体	-	-	-	わかりやすく、見やすい報告書だと思います。ただ一つリクエストとして、各区分の最初のページ（各基本方針が記載されているページ）には、イラストを入れていただけると、気分がほぐれリラックスして読みたくなります。（用紙の下半分に余白があるので、ここにイラスト入れられますよね。）	御意見ありがとうございます。データ容量等の制約はありますが、次年度以降の年次報告書にてイラストや写真等の採用を検討していきます。（事務局）
天野委員 【災害】 【水辺環境】	-	-	-	令和2年11月、岡崎市滝町地内を流れる青木川でヌートリア（1匹）の生息を確認した。 ヌートリアは環境省で特定外来生物に指定されており、水辺の動植物を捕食するとともに、田畑の農作物を食害するために全国各地で問題になっている。また、水辺近くにある土手や田畑の畔に、長く複雑な巣穴を掘って生息しているため、出水時に堤防が崩壊し水害の発生が危惧される。このため食害や水害の発生を抑制するため生息調査及び対策が必要ではないか。	平成24年度時点の生息調査にて、乙川上流部においてもヌートリアを確認しており岡崎市域ほぼ全域に生息しているものと推察されます。河川周辺の田畑等では市での駆除を既に実施していますが、目撃例の大半は主要河川の河川敷であるため県等による広域的な駆除の実施を要望してまいります。（環境政策課）
天野委員 【災害】	-	-	-	令和3年7月、記録的な豪雨により静岡県熱海市伊豆山地区で大規模な土石流が発生し多くの生命と財産が失われた。この土石流発生の大きな要因の一つとして、上流域での無秩序な残土埋め立てが指摘されている。 岡崎市内の山間地域においても各所に無秩序な残土埋立が行われているため、降雨に土石流等の発生が危惧される。生命財産や河川環境を保全するためにも、市条例等により無秩序な盛土行為を規制すべきではないか。	国や県で現在規制の調整がなされているため、これらの結果を踏まえて本市の対応を検討していきます。（事務局）
井上委員 【水量】	1-1	間伐の推進	森林課	4 今後の検討課題に、「団地化の推進」がありますが、これは1-2の施策ではないでしょうか。	本計画の重点施策は事業ではなくテーマ（目的や趣旨）で取りまとめているため、内容の重複が少なからず発生します。新計画では重複が少なくなるように施策を再設定していますが、今回は旧計画最終年度のためそのまま残して掲載させていただきます。（事務局） 団地化の推進が間伐の推進に直接つながる説明の内容なので、こちらの記載は残した方が良いと思います。（森林課） （例えば、木材利用の推進も1-5の施策です。）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
蔵治委員	【水量】 1-1	間伐の推進	森林課	3期待される効果 の1行目「水源地上保全し」は、誤植ではないか。	誤植です。「水源地を保全し」に修正します。（事務局）
長谷川委員	【水量】 1-1	間伐の推進	森林課	「4 今後の検討課題」 ・「森づくりを支えるしくみ」とは具体的にどのようなものか？ ・「間伐の推進」にボランティア（ほぼ無償？）依存を前提に考えているように見えます。これでは、持続は難しいのではないのでしょうか？ ・もしくは、ボランティアでも持続できるしくみがあるなら、明記して下さい。 ・1-4にボランティアが記載されるのは、好意的に感じられてよいと思いますが、特に「1-1」という一番最初がボランティア依存に感じてしまうのは、後ろ向きな政策に感じられてしまいます。	岡崎市には、現在「水守森支援隊」を始めとするボランティア団体が、実際に人工林の整備を活発に実施していただいています。また、有償ボランティア的な活動として、木の駅プロジェクトが活発に活動し、毎年1,000tの間伐材の搬出を行う状況となっています。企業等の今までのCSR活動、そしてこれからのSDGsを踏まえての、森林づくり・森林空間の活用などを含めた新たな連携づくりを、令和3年度からセミナーを開催するなどし、公民連携の中で考えています。（森林課）
片岡委員	【水量】 1-1	間伐の推進	森林課	今後各地域にも推進して行くよう実施計画を要望します。	森林経営管理法における実施を中心として、各地域にも間伐の推進をしていきたいと思えます。（森林課）
稲打委員	【水量】 1-1	間伐の推進	森林課	4今後の検討課題でどこでどのように「森林づくりを支える仕組みづくりに努める」のか、市民に分かりやすく書いてほしい。	企業等の今までのCSR活動、そしてこれからのSDGsを踏まえての、森林づくり・森林空間の活用などを含めた新たな連携づくりを、令和3年度からセミナーを開催するなどし、公民連携の中で考えています。（森林課）
沖委員	【水量】 1-1 1-2 1-3	間伐の推進 施業の団地化・集約化の推進 林地境界の確定	森林課	各項目の「検討課題」はかねてから問題として提起されてきました。もう少し具体的な実施計画を示していただきたいと考えます。 「あいち森と緑づくり人工林整備事業」「環境譲与税」など課題となっている間伐整備事業を進めるための対策費を投入できる仕組みを活用して、既に推進されていると思えますので、もう少し分かりやすい調査票を示していただきたいです。	ご指摘いただいている、森林経営管理制度などの具体的な取組の記載については、令和3年度の「岡崎市水環境総合計画」での実施状況のまとめで、森林整備ビジョンでまとめられた内容を反映していきます。（森林課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
富永委員	【水量】 1-1 1-2 1-4	間伐の推進 施業の団地化・集約化の推進 多様な森林づくりの推進	森林課	施策内容に実績が書かれているが、その評価が書かれていない。最終的な目標に対してどれぐらいか。	従来の水プランの年次報告書では施策の紹介が主目的で実績評価を重視して作成してきておりませんでした。事業毎ではなくテーマ（趣旨や効果）に基づいて重点施策を設けているので、複数の実績が計上され最終目標の設定も難しいです。次年度以降の新計画に基づく年次報告書では、実績以外に参考指標として目標数値や実績を紹介し、より市民が評価のしやすい報告書としていく予定です。（事務局） 水環境創造プランでは、数値目標などあげられていません。今年度から運用開始した新森林整備ビジョンでは、「放置人工林を含む地番の間伐面積」を指標として、2040年に、4,358haを目標としています。（森林課）
近藤委員	【水量】 1-1 1-4	間伐の推進 多様な森林づくりの推進	森林課 環境政策課	間伐が森林の水涵養能力及び土砂の災害防止に対して、どの程度効果があるのかを把握し、間伐の実施目標を設定すべきと考える。その上で実施を加速するために森林所有者に (1)間伐実施への報酬 (2)成長木材切り出しの補助支援等の支援をしたらどうでしょう。森林所有者でない市民も対象にしてもいいと思います。	水源涵養能力及び土砂災害については、一般的に効果があると言われております。また、森林整備が緑のダム機能に与える効果の科学的知見を収集するため、2030年までにモデル林を設置します。間伐の実施目標についても、放置人工林を含む地番の間伐面積を2040年までに、4,358ha実施と上げています。間伐実施への報酬や、木材切り出しなどへの補助は既に実施しているところですが、限りある予算の中でより良い施策を実施し、森林整備につなげたいと思います。（森林課）
丸山委員	【水量】（水辺環境） 1-1 4-1	間伐の推進 竹・草の有効活用の検討	森林課 環境政策課	間伐は健全な森林確保に不可欠であり、また、近年の竹の異常な繁茂は他の植物に好ましい状態とは言えません。そこで、間伐材や竹を燃料とした火力発電を設置しこれらの有効利用、再生可能エネルギーの確保等を図ることは不可能でしょうか。ゼロカーボンシティにふさわしい施策とならないだろうか。間伐材や竹が燃料として買い取られることになれば、伐採も進むのではなからうか。エネルギーの地産地消、額田などに新たな雇用の創出とならないだろうか。	バイオマス利用については、山主や森林整備事業者などに適切なお金が返り、かつ、岡崎市にあった規模の仕組みが望ましいと考えます。（森林課） 竹をチップ化し、繊維や家畜の飼料などへの活用を視野に入れた検討を開始しています。（中山間政策課）
長谷川委員	【水量】 1-2 1-3	施業の団地化・集約化の推進 林地境界の確定	森林課	林地境界を確定させて、可能な場所を団地化し集約化して効率的に施業を行えるよう、今後も積極的に実施を推進していただきたいです。	森林経営計画、森林経営管理制度及びあいち森と緑づくり事業などにより、林地境界の明確化、団地化・集約化を推進します。（森林課）
富永委員	【水量】 1-3	林地境界の確定	森林課	施策内容のところに「今後の検討課題」にある実績と評価を書くべきではないか。	記載内容を修正します。（森林課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
井上委員	【水量】 1-3	林地境界の確定	森林課	4 今後の検討課題に示している令和2年度の実績は、2 施策内容に移動したほうがよいと思います。 4 今後の検討課題に示している事業を実施せずに境界が確定している森林はないのでしょうか。また、境界確定あるいは未確定の森林面積は把握されているのでしょうか。	実績の記載は「施策内容」に記載させていただきます。 当該事業等を実施せずに、境界が確定している事例は、把握しておらず、現実的には、事例として少ないものと思われますので、各事業を取り進めることにより、境界確定を進めていきたいとします。（森林課）
蔵治委員	【水量】 1-3	林地境界の確定	森林課	2 施策内容 に、森林環境譲与税を財源とした事業により更なる境界画定を進めている、とあるが、令和2年度の実績が数値で示されていない。	森林経営管理制度による、森林境界確認の面積を追記します。（森林課）
片岡委員	【水量】 1-3	林地境界の確定	森林課	境界がはっきりする事により、所有者が森林に関心を持ち、少しでも手入れするようになると思いますので、大いに促進をお願いします。	森林経営計画、森林経営管理制度及びあいち森と緑づくり事業などにより、林地境界の明確化を推進します。（森林課）
井上委員	【水量】 1-4	多様な森林づくりの推進	森林課	間伐については、施策1-1と重複しますので、削除したほうがよいと思います。	重点施策は、予算に紐づいた事業ではなくテーマ（趣旨や効果）で取りまとめているため、実績の重複が少なからず発生します。年次報告書の連続性の観点から今年度までは掲載させていただきます。新計画の報告書からはこうした報告の重複をできる限り排除していきます。（事務局）
武田委員	【水量】 1-4	多様な森林づくりの推進	森林課 環境政策課	3 (2)…人と自然との共生、地球環境の…への取り組みとして…。 里山保全活動が地球環境というスケール（規模）の何への取り組みになりますか？ スギ、ヒノキの人工林は里山のくりに含んでいますか。里山林と人工林の範囲が分かりにくいです。	（上の質問） 生物多様性の4つの危機のうち、第2の危機として、里山に人が手を入れなくなったことがあげられており、里山保全活動はこれらを解決するためのモデル事業としています。この活動が各地に広がることで、本市の環境みならず生物多様性の保全や気候変動対策へとつながると考えています。（環境政策課） （下の質問） 里山林には含まれませんが、施策名の多様な森林づくりに基づき実績を報告しています。新計画では人工林の間伐と里山の保全を別施策として実績を報告していきます。（事務局）

区分	No.	重点施策	行動主体 岡崎市	意見（質問）	回答
長谷川委員	【水量】 1-4	多様な森林づくりの推進	森林課 環境政策課	「今後の検討課題」（１）間伐について 間伐が必要なのは理解していますが、その前に場所ごとに「この森」をどうするのか？というそれぞれの森林の将来構想は明記されているのでしょうか？それ無しに間伐だけをしても「多様な森林づくり」になっていきません。目指すべき姿を明記していただき、それに基づいて間伐を含む森林管理がなされていることを望みます。	森林整備ビジョンでは、2,110年の目標として、人工林：天然林：里山林の比率が4：5：1となることを目指しています。人工林の放置林の対応は喫緊の問題です。森林経営管理制度を進捗することにより、放置林の解消と、長期的には森林経営に適した箇所が選別されることにより、人工林以外へと誘導が図られることとなります。（森林課） おかざき自然体験の森やおおだの森では、森づくり方針等の基本方針を定め、エリアごとに守るべき自然を明記し、市民活動団体と情報共有し、ともに森をつくる活動をしています。（環境政策課）
沖委員	【水量】 1-4 1-5	多様な森林づくりの推進 公共施設・公共事業における地元材の利用促進	森林課 環境政策課	「市内の森林、特にスギ・ヒノキの人工林については放置林が多く、それに伴う森林の公益的機能が低下した不健康な森林となっている。～保全を図ることが必要となる」。この背景には国の拡大造林、木材の自由化、農業政策の変換が大きく影響していると考えます。こうした下で各自治体が大変な努力を余儀なくされていることに心が痛みます。 ただこれまで行われてきました施策は、例に挙げられています「おかざき自然体験の森」や「おおだの森」はボランティアに支えられて維持されてきたところがあります。 現在の放置林や放棄田の対策は従来通りではよくならない事は明らかです。大胆な施策が必要と感じております。既に取り組みされている事業がありましたらお教えてください。 地元材の利用促進については既に様々な活用がされており喜んでおります。50年前頃までは三河材利用の一般家屋は施主のステータスシンボルでした。岡崎の林業家が長年護ってこられた山林はまだ現存していて需要が半世紀前に戻ることは難しいかもしれません。 しかし、昨年（令和3年10月）「改正公共建築物等木材利用促進法」が策定されましたが、法改正を受けて岡崎市が取り込まれる施策の予定がありましたら提示くださいませんか。	森林整備ビジョンでは、2,110年の目標として、人工林：天然林：里山林の比率が4：5：1となることを目指しています。人工林の放置林の対応は喫緊の問題です。森林経営管理制度を進捗することにより、放置林の解消と、長期的には森林経営に適した箇所が選別されることにより、人工林以外へと誘導が図られることとなります。 地元材の利用促進については、令和3年度末に、林業の6次産業化を目指す地域商社が設立されました。新たな販路開拓及びサプライチェーンの構築を目指します。また、木材利用の人材の育成を図るため、建築物木造化の講習会を開催してまいります。（森林課）
蔵治委員	【水量】 1-5	公共施設・公共事業における地元材の利用促進	森林課	2 施策内容 において、内装木質化、木製ベンチ、木造保育園の実績数量が示されているが、これらはすべて市内産材であるのかどうか、明記すべき。	明記します。（森林課）
片岡委員	【水量】 1-5	公共施設、公共事業における地元材の利用促進	森林課	木材を資源とした活用方法を研究推進すると良い。	令和3年度末に、林業の6次産業化を目指す地域商社が設立されました。新たな販路開拓及びサプライチェーンの構築を目指します。また、木材利用の人材の育成を図るため、建築物木造化の講習会を開催します。（森林課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
蔵治委員	【水量】 1-6	農地の保全	中山間政策課	2 施策内容 で、約1200万円を交付したとあるが、これによりどれくらいの面積の耕作放棄地が、5年以上農用地として維持されることが確約されたのか、記載して欲しい。	新たな耕作放棄地の発生を抑制するために、現在維持管理されている農業生産条件の不利益な地域の農用地を対象に交付しています。これにより563,629㎡の農用地が保全され、耕作放棄地の発生が抑制されました。次回からは保全された面積がわかるような記載に努めます。（中山間政策課）
長谷川委員	【水量】 1-6	農地の保全	中山間政策課	「2 施策内容」 15地区とありますが、岡崎市全体で何地区あるのでしょうか？全体数の記載があるとわかりやすいです。 「4 今後の検討課題」 農地の高齢化や後継者不足については、ずーっと言われ続けてきたことです。働き手がいらないのではなく、「働く環境が整っていない」ということです。農業をしたい！という人たちが農地で働き生活できるようにサポートしていただければと思います。	岡崎市内の14集落と1団体と取決めを締結しています。 次回からは分かりやすい記載に努めます。（中山間政策課） 中山間地域における農業の担い手に対する、人材の確保・育成と中山間地域農業の維持発展を図る取組を支援していきます。（中山間政策課）
片岡委員	【水量】 1-6	農地の保全	中山間政策課	耕作放棄地を農地として拘らず、地域活性化のために目的を理解して、農地転用をスピード感を持ってしては良いのでは。	耕作放棄地について、高収益作物の導入、都市部住民への貸し出し、動物の放牧など多様な活用を図るとともに、除草労力の軽減手法を検討します。ただし場所によっては将来の地域状況も考慮して、現在の土地利用の見直しを行い、地域活性化に寄与する活用方法であれば、農地以外の利用方法も検討します。（中山間政策課）
沖委員	【水量】 1-6	農地の保全	中山間政策課	「農業従事者の高齢化、後継者や担い手の不足及び鳥獣害等により耕作放棄地が増加し農地が持つ水源涵養機能（田んぼダム）などの多面的機能の低下が危惧されている」といった背景と必要性が長く続いてきた中、中山間地域等直接支払制度等の施策が始まったことは画期的だと思います。しかし、「今後の検討課題に挙げられていますように「高齢化や後継者不足といった原因の根本的な解決になっていない・・・」とありますように、なかなかハードルの高い課題と思われれます。新たな岡崎市独創のアイデアあるいは他自治体で取り組んでおられる先進例がありましたら提示していただけますか。	近年、地域の再生を目指す新たな取組として、全国的に暮らしの安心と希望をつなぐ「小さな拠点」づくりが始まっており、成功事例も多く報告されています。「小さな拠点」とは、小学校区など、複数の集落が散在する地域（集落生活圏）において、商店、診療所などの日常生活に不可欠な施設・機能や地域活動を行う場所を確保し、周辺集落とネットワークで結ぶことで、都市部住民も含めた人々が集い、交流する機会が広がり、交流人口の創出・拡大から移住・定住に繋がり、集落地域の再生を目指す取組です。本市においても中山間地域に点在する遊休施設等を拠点づくりに活用していくことを検討していきます。（中山間政策課）
長谷川委員	【水質】 2-1	合併処理浄化槽の普及	廃棄物対策課	「2 施策内容」 合併処理浄化槽を設置したことで、設置前と後の水質の効果もこのページに記載される（もしくは参照できるページを明記）していただくと、水循環としての効果がわかりやすくなります。合併浄化槽の普及はあくまでの水質向上のための「手段」であり、目的ではありません。なので、設置した効果の結果を記載いただくと良いと思います。	単独処理浄化槽と比較して合併処理浄化槽は生活排水の汚れを8分の1に減らす効果があり、生活排水による環境負荷の軽減につながります。（廃棄物対策課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
丸山委員	【水質】 2-1	合併処理浄化槽の普及	廃棄物対策課	浄化槽の問題として考えられることは、浄化槽台帳で正しく実態が把握されているだろうか。下水道処理区域となり、3年が過ぎても下水道に切り替えていない浄化槽が意外と多いのではなかろうか。などが考えられます。正しく実態をとらえ、地区を限定して合併処理浄化槽化、適正処理の説明会などを実施してはいかがでしょうか。	御意見通りです。市内全域で浄化槽の使用状況の調査を行い、浄化槽台帳の精査を行うことで指導対象者の把握を進めています。調査後、市民の方への説明会等を実施していこうと考えております。（廃棄物対策課）
稲打委員	【水質】 2-2	浄化槽の適正管理	廃棄物対策課	(3)その他 ア 「法定検査等によつては～」は検査基準となる数値が明示されるとよい。	環境省が外観検査、水質検査、書類検査に係るチェック項目及びその判断方法のガイドラインを公表しています。（廃棄物対策課） 基準の掲載は紙面の都合上割愛いたします。（事務局）
富永委員	【水質】 2-3	下水道の整備（汚水）	下水工事課	2施策内容の事業計画区域が令和2年度で元年度より減少しているのはなぜでしょうか。 3期待される効果に「トイレの水洗化が促進され」とありますが、合併浄化槽なども水洗化されているため、下水道整備により水洗化が促進されるとは言えなくなっているのではないのでしょうか。	令和2年度に下水道事業計画の変更を行ったため、流域関連公共下水道事業計画区域の面積が減少しています。 ご意見のとおり、合併処理浄化槽による水洗化と合わせ下水道整備を行うことにより、岡崎市全体の水洗化がより促進されると考えております。（下水工事課）
長谷川委員	【水質】 2-3	下水道の整備（汚水）	下水工事課	「2 施策内容」 表に年ごとの計画区域面積が記載されていますが、岡崎市としては全体でどれだけの計画されているのか、全体面積の記載があるとわかりやすいです。 また、この表の普及率とは、どこから出てきた数値でしょうか？同じ表内に記載されると、計画区域に対する処理面積かと勘違いしてしまいます。 現在の下水整備状況の普及率であれば、「1」の目的に記載したほうが誤解が少ないです。もし、違う意味であれば、誤解されないように明確な記載をお願いします。	表中の流域関連公共下水道事業計画区域は、年ごとの計画区域面積ではなく、岡崎市全体の下水道計画区域面積のことで、表中に追記しました。（下水工事課）
沖委員	【水質】 2-3	下水道の整備（汚水）	下水工事課	「4 今後の検討課題」の文中の市街地を中心として古い下水道管渠が多数存在してとありますが、この市街地の範囲と改修の事業費見込額などわかりましたら提示いただけますか。	古い下水道管渠(合流管)が存在している市街地の範囲は、別紙のとおりです。現時点での事業費見込額(令和3年度～令和12年度)は約202億円となっております。（下水工事課）
富永委員	【水質】 2-6	市民による水質一斉調査と「あいちの水循環再生指標」による評価	環境保全課	水質一斉調査の結果を受けて、変化した部分などの考察が必要ではないか。	本調査は天候等の影響を受けやすく、また参加者の主観による評価も採用しているため、長いスパンでデータ数を蓄積して評価していく必要があると考えます。新計画においても重点施策に定めているため今後も調査を継続し、どのタイミングで評価・考察を行うべきか検討を行います。（環境保全課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
井上委員	【水質】 2-6	市民による水質一斉調査と「あいちの水循環再生指標」による評価	環境保全課	2施策内容の(6)とりまとめで、会議名などが記載されているのですが、ここで報告したなどの説明が必要だと思ひます。	調査結果については各会議へ情報提供しています。その旨を追記いたします。（環境保全課）
長谷川委員	【水質】 2-6	市民による水質一斉調査と「あいちの水循環再生指標」による評価	環境保全課	「4 今後の検討課題」 五感を用いた「あいちの水循環再生指標」を利用するのは良い評価方法だと思ひます。ぜひ、今後も続けていただきたいと思ひます。ただ、各河川の理想とする姿までの明記はされていません。よって調査地点を増やす前に、各河川での目指す姿（理想像）を大枠の数値を含めての具体的にイラストなどで示して、それに合わせたモニタリングができるようにした方が良いのではないでしようか？ 特に、本来の「美しい川」を見たことのない世代が増えてきているため、感覚がずれることは致し方ないことです。それゆえに、河川ごとの目指す姿の明記（現在の目指す姿&超理想の姿も）が必要だと思ひます。河川課と連携してぜひ理想の姿を示していただけたらと思ひます（次年時以降の宿題となりますね）。	ご意見ありがとうございます。目標の具体化と共有はあるべき水循環の達成に不可欠です。今後の協議会でそうした議論も深めていければと思ひます。（事務局）
谷地委員	【水質】 2-6	市民による水質一斉調査と「あいちの水循環再生指標」による評価	環境保全課	(5)結果の数値について、5点満点の判断基準は何でしようか。	「あいち水循環再生指標」で定められた基準で評価しています。参考にパンフレットを添付いたします。（環境保全課）
武田委員	【災害】 3-1	遊水地の整備	河川課	3(2)「それらの考え方が…」とありますが、「それらの」とは何でしようか。具体的な記述が必要かと思ひます。「スポーツなどの…、ピオトープなどの整備が検討内容に取り入れられれば…期待できる。」 検討ではなく実施内容？	「それらの」とはスポーツなどの多目的な空間利用とピオトープの整備です。（河川課） スポーツなどの多目的な空間利用のほか、ピオトープなどの整備により、人が集まり自然に親しむことができる環境づくりが期待できる。（河川課）
長谷川委員	【災害】 3-2	下水道の整備（雨水）	下水道工事課	各年度ごとの達成率の記載は判りやすく良いと思ひます。毎年の達成率と同時に、市全体での下水道達成率の記載もあると、ゴールが明確になり今後の検討課題の記載されている内容に具体性が出てくると思ひます。	表中の達成率は、各年度末時点における市全体での達成率となります。（下水道工事課）

区分	No.	重点施策	行動主体 岡崎市	意見（質問）	回答
稲打委員	【災害】 3-4	雨水貯留浸透施設設置補助事業	上下水道部 サービス課 廃棄物対策課	4今後の検討課題で補助要望件数減少の分析が必要である。	<p>【サービス課】 平成16年度の事業開始から18年が経過し施設設置に前向きな方々の多くが既に設置されたと分析している。 申請件数は平成16年から右肩上がりで増加し、8月末豪雨のあった翌年の平成21年（申請件数124件）をピークに減少に転じ、右肩下がりとなったのち、近年5年間は年10から20件程度の申請件数となっている。 案内の市街化区域全世帯への回覧、市政だよりへの掲載、ホームセンターなどでの配布、またイベントで実物を展示してのPRなどを行うも傾向は変わらない。</p> <p>【廃棄物対策課】 単独処理浄化槽から雨水貯留槽への転用は、躯体が経年劣化していること、新たに設置する合併処理浄化槽とのスペースの兼ね合いが難しいこと、配管の取り回しが複雑になることなど、金銭面でも技術面でも負担が大きくなりやすいことから補助要望件数が伸び悩んでいると考えます。</p>
富永委員	【災害】 3-4 3-5	雨水貯留浸透施設設置補助事業 市民による雨水の有効活用の推進	上下水道部 サービス課 廃棄物対策課	この2つは施策内容が同じ、統合した方がよいのではないかと。	新計画では「3-2 雨水貯留施設の設置推進」として統合しました。この形での実績報告は今回までとなります。（事務局）
長谷川委員	【災害】 3-4 3-5	雨水貯留浸透施設設置補助事業 市民による雨水の有効活用の推進	上下水道部 サービス課 廃棄物対策課	施策内容（2）廃棄物対策課 補助実績が1件：単独浄化槽を廃止されたのは何件あったのでしょうか？ 1件だけの廃止で、その方が雨水貯留槽にしていたのなら、素晴らしい実績だと思います。また、現在、市内に単独浄化槽が設置されているのは何件なのでしょう？	令和2年度に廃止された単独処理浄化槽のうち、補助事業の対象となったのは26基でした。市内に設置されている単独処理浄化槽は9,286基（R3.12末）です。（廃棄物対策課）
井上委員	【水辺環境】 4-1	竹・草の有効活用の検討	環境政策課	2施策内容で、参加者数などの数値を書き込むことができれば、入れたほうがよいと思います。	<p>従来の水プランの年次報告書では施策の紹介が主目的で実績評価を重視して作成してきておりませんでした。次年度以降の新計画に基づく年次報告書では、実績以外に参考指標として目標数値や実績を紹介し、より市民が評価のしやすい報告書としていく予定です。（事務局）</p> <p>竹林の整備では春に新竹の整理、夏に発生本数整理、冬に間伐を行っています。炭焼きは発生した材に合わせて行い、竹細工は月2回延べ141名、竹ぼうき作りは年2回延べ6名の参加がありました。（環境政策課）</p>
長谷川委員	【水辺環境】 4-1	竹・草の有効利用の検討	環境政策課	竹は抗菌や消臭性に優れることから、現在衣服などの繊維利用への応用が進みかけています。現在考えられているような竹ぼうきなどへの利用では、竹林管理としては追いつきません。大量にそして持続して竹を利用する可能性のある企業とタイアップするなどして、そこに補助金を出すなど、新たな展開をそろそろ検討すべきではないかと思っています。	おっしゃるとおり、大量の竹を活用を実施するためには新たな展開が必要です。竹をチップ化し、繊維や家畜の飼料などへの活用を視野に入れた検討を開始しています。（中山間政策課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
富永委員	【水辺環境】 4-1 4-3 4-5	竹・草の有効活用の検討 在来種復活大作戦 多自然川づくりの推進	環境政策課 農地整備課 河川課 公園緑地課	施策内容に具体的な実施状況が書かれていない。	青木川ほか9河川（鉢地川、丸山川、鹿勝川、霞川、山綱川、前川、伊賀川、金剛沢川、梅藪川）の浚渫工事（約1440m）において、自然な水際部の形成を行った。（河川課）
井上委員	【水辺環境】 4-3	在来種復活大作戦	環境政策課 農地整備課 河川課 公園緑地課	4今後の検討課題の(4)が4-5と同じです。施策に焦点を当てた記載が必要だと思います。	4-3～4-5の施策については、いずれも水辺の生態系に関する重点施策のため紐づく各課の事業の重複しています。新計画では「4-2水辺の生態系ネットワークの保全」という一つの重点施策に統合し、とりまとめて進捗確認や課題の検討を実施していきます。（事務局）
長谷川委員	【水辺環境】 4-3	在来魚復活大作戦	環境政策課 農地整備課 河川課 公園緑地課	池干しをしたことで、何が変わったのかは一般の人たちには見えにくいのが現状です。それゆえに、ピフォーア・アフターをしっかりと示していただけると良いと思います。今後の課題に明記されていた、河川敷のオオキンケイギクは人目にもわかりやすいので、何故抜く必要があるのか？駆除した成果（〇〇エリアからオオキンケイギクは無くなった等）の提示、外来種を抜いた後に在来種が生息できるように（植栽するなど）をして、「何を守っているのか」がはっきりと市民の皆様には伝えるようにしていただけたらと思います。	御意見ありがとうございます。池干しの際には、訪れる人に状況が分かるように周知の張り紙をを行っています。オオキンケイギクについては、次年度から、市内全域の町内会に、春の一斉清掃に合わせて駆除依頼を行うとともに、その必要性を訴えるチラシを配布します。（環境政策課）
蔵治委員	【水辺環境】 4-3 4-4	在来種復活大作戦 魚の遡上を阻害する構造物の改修	環境政策課 農地整備課 河川課 公園緑地課	「実績なし」は残念なことである。なぜ実績がなかったのか、その理由と次年度以降に実績をつくる方法を記載して欲しい。	4-3 池干しに関しては、池の管理者の意向によるものであるため、R2年度に関しては、実績がありませんでした。一方、R3年度や次年度は実績や予定があり、引き続き池干し実施の情報提供を依頼し、在来種保護・外来種駆除を行っていきます。（環境政策課） 4-4 H26年に設定された施策項目のため若干内容が古い点があります。新計画では「4-2水辺の生態系ネットワークの保全」という施策に再設定し、広い視点で水辺の生態系の保全に努めてまいります。（事務局）
丸山委員	【水辺環境】【水との関わり】 4-3 5-8	在来魚復活大作戦 魚ふれあい事業の実施	環境政策課 農地整備課 河川課 公園緑地課 中山間政策課	岡崎市の池や川からフナ、モツゴ等の在来種が姿を消しました。これらを積極的に増加させる必要があると思います。ブラックバス、ブルーギルの駆除にとどまらず、これらが生息できる池や沼を積極的に増やし、在来魚の池を指定してはどうだろうか。例えばフナを市のシンボルとしその増加作戦を実施する。また、市民が自由に魚釣りなどの遊ぶことができる池などを増やし、日常の遊びを通じて生態系の重要性を認識させる必要があるように思います。単発的なイベントの実施だけでは、なかなか課題の解決はできないのではなかろうか。	近年は遊びの多様化その他様々な要因により、水辺環境に限らず自然環境に興味を持たない若者が増えつつあります。学校教育と連携して、これらの必要性を訴えてまいります。（環境政策課） 市民魚釣り場設置、鮎つかみイベント実施などにより、市民が川や魚に触れ合う場を設け、関心をもつきっかけを作り環境保全意識の向上を図ります。（中山間政策課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
井上委員 【水辺環境】	4-4	魚の遡上を阻害する構造物の改修	河川課	この施策については、何も行っていないように見えます。今後の整備の見直しなど記載できないでしょうか。	H26年に設定された施策項目のため若干内容が古い点があります。新計画では「4-2水辺の生態系ネットワークの保全」という施策に再設定し、広い視点で水辺の生態系の保全に努めてまいります。（事務局）
長谷川委員 【水辺環境】	4-4	魚の遡上を阻害する構造物の改修	河川課	4 今後の検討課題について 魚道の効果の検証については、過去の様々事例から魚が遡上することが示されています。検討課題はモニタリング効果の検証ではなく（だけでなく）、外来種が遡上した場合の対策を講じていただくこと（対策の検討）を優先された方が良いのではないのでしょうか？	外来種が遡上した場合の対策についても検討してまいります。（河川課）
井上委員 【水辺環境】	4-5	多自然川づくりの推進	河川課	意見内容 2施策内容の「・・・形成を行った」面積を記載したほうがよいと思います。 4今後の検討課題が4-3と同じです。施策に焦点を当てた記載が必要だと思います。	（浚渫の実績について） 青木川ほか9河川（鉢地川、丸山川、鹿勝川、霞川、山綱川、前川、伊賀川、金剛沢川、梅藪川）約1440m（河川課） （施策について） 4-3～4-5の施策については、いずれも水辺の生態系に関する重点施策のため紐づく各課の事業の重複しています。新計画では「4-2水辺の生態系ネットワークの保全」という一つの重点施策に統合し、とりまとめて進捗確認や課題の検討を実施していきます。（事務局）
長谷川委員 【水辺環境】	4-5	多自然川づくりの推進	河川課	子供たちにも、本来の川の姿を知ってもらえるためにも、よりよい多自然川づくりを是非推進して下さい。	河川が本来有している多様な河川環境保全・創出し、治水をふまえた多自然川づくりを推進してまいります。（河川課）
稲打委員 【水辺環境】	4-5	多自然川づくりの推進	河川課	浚渫工事を行ったのはどこの河川なのかを明記すべきである。	青木川ほか9河川（鉢地川、丸山川、鹿勝川、霞川、山綱川、前川、伊賀川、金剛沢川、梅藪川）（河川課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
井上委員 【水辺環境】	4-6	目指せ！『ホタルのまち岡崎』	環境政策課	2施策内容に参加者数などの数値を入れたほうがよいと思います。	従来の水プランの年次報告書では施策の紹介が主目的で実績評価を重視して作成してきておりませんでした。次年度以降の新計画に基づく年次報告書では、実績以外に参考指標として目標数値や実績を紹介し、より市民が評価のしやすい報告書としていく予定です。 おかざき自然体験の森でのホタル観察会は、再確認したところR3年度の実績が記載されていたため、R2の実績に修正いたします。（事務局） 参加者数は、おかざき自然体験の森でのホタル観察会は、30名、岡崎市ホタル学校ホタルガイドツアーでは20名の参加がありました。（環境政策課）
井上委員 【水辺環境】	4-7	緑化の推進	公園緑地課	2施策内容は令和2年度の実績でしょうか。他の施策と同様に年度を明記したほうがよいと思います。	修正します。（事務局）
長谷川委員 【水辺環境】	4-7	緑地の推進	公園緑地課	国としても「30by30」の実現に向けて、OECM制度を推進していくと思われます。OECM制度を利用し企業など民間へも緑地の推進を進めていただきたいと思います。	国や県の制度なども活用し、本市においても「30by30」の実現に向けて事業を推進してまいります。（環境政策課）
沖委員 【水辺環境】	4-7	緑化の推進	公園緑地課	緑化が進められている一方では数十年育った樹木が伐採されています。公園や道路の改修や拡張等やむを得ない事情があるかもしれませんが、樹木のいのちを生かした工事ができないものでしょうか。	事業により状況が異なるため、地域住民等の意見をうかがい事業を進めてまいります。（公園緑地課）
長谷川委員 【水との関わり】	5-1	ボランティア講師による環境学習の推進	環境政策課	4 今後の課題 愛知県では「環境学習コーディネーター事業」を実施しています。 https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000060443.html ボランティアリーダーとなった方々が県の事業の講師となるように行政が紹介することで、実践の機会が増えると良いと思います。	承知しました。（環境政策課）
稲打委員 【水との関わり】	5-1	ボランティア講師による環境学習の推進	環境政策課	ホタル学校以外に環境学習を行った所があれば書いてほしい。	講師の養成を行う講座としては、記載の内容のみです。（環境政策課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
富永委員	【水との関わり】 5-3	環境フォトコンテストの開催	ゼロカーボンシティ推進室	令和2年度のフォトコンテストの実施状況がホームページで確認できない。	3年度との混同を避けるため令和2年度のフォトコンテストに関するページの公開を終了させています。過年度の実施状況について同一のページで把握できるようにするなど改善に努めます。（ゼロカーボンシティ推進室）
井上委員	【水辺環境】 5-3	環境フォトコンテストの開催	ゼロカーボンシティ推進室	4今後の検討課題の記載内容が「今後の課題」にはなっていません。	部門ごとの作品の応募点数の偏りの是正や応募作品の発表の機会の増加など、具体的な課題の記載に努めます。（ゼロカーボンシティ推進室）
長谷川委員	【水との関わり】 5-3	環境フォトコンテストの開催	ゼロカーボンシティ推進室	環境フォトコンテストの写真を市役所で拝見致しました。岡崎市の「よいところ」と「わるいところ」の写真にしたのが、「はっ」と気づかせる意味で良かったと思います。また、その写真に対するコメントも写真の意味が伝わりよい構成だと思いました。ただ、「わるいところ」の方がインパクトはありますが、「なおしたいところ」の方がポジティブに感じられるかと思いました。また、写真展を駅や大型スーパーなどと連携して掲示してもらえると、より広がると思いました。	「わるいところ」部門は問題意識の高い作品が寄せられ、その発表は貴重な啓発の機会と捉えております。御指摘いただきました部門名や市民の目に触れる機会の増加など今後検討を重ね、よりよいコンテストとしていきたいと考えております。（ゼロカーボンシティ推進室）
富永委員	【水との関わり】 5-4	「森の駅」事業の充実	環境政策課 観光推進課	施策内容に各種イベントの具体的な実施状況が書かれていない。	従来の水プランの年次報告書では施策の紹介が主目的で実績評価を重視して作成してきておりませんでした。次年度以降の新計画に基づく年次報告書では、実績以外に参考指標として目標数値や実績を紹介し、より市民が評価のしやすい報告書としていく予定です。（事務局） 各施設の入場者数 おかざき自然体験の森 12,787人 こども自然遊びの森 18,990人 ホテル学校 7,534人 その他の森の駅施設イベント参加者数 678人 （環境政策課）
蔵治委員	【水との関わり】 5-6	環境美化・保全団体の活動支援	環境保全課 環境政策課	2の（2）（3）については、実績なしということであれば、その旨を記載し、なぜ実績がなかったのか、その理由と次年度以降に実績をつくる方法を記載して欲しい。	実績はあり、各団体とも月2回の定期活動を市と協働で行っています。（環境政策課）

区分	No.	重点施策	行動主体	意見（質問）	回答
			岡崎市		
蔵治委員	【水との関わり】 5-8	魚ふれあい事業の実施	環境保全課 環境政策課	釣り場利用人数は把握していないとのことだが、サンプリングでもいいしアバウトな数でもいいので、概数を把握するようにしてはどうか。	市民の方がいつでも自由に利用できるため、現在利用人数を把握できておりません。概数を把握するための手法を研究いたします。（中山間政策課）
武田委員	【水との関わり】 5-8	魚ふれあい事業の実施	中山間政策課	人口の池 人工の池ではないか。	修正します。（事務局）
長谷川委員	【水との関わり】 5-8	魚ふれあい事業の実施	中山間政策課	<p>2 施策内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤字：人口の池 「人工」に変更 ・アユを放流していますが、このアユが河川に流れ込まないように対策はされているでしょうか？また、アユの遺伝子汚染をこれ以上起こさないよう、どういったアユを放流しているのかも参加者に伝えて行くことで、河川の生物多様性への意識を高めることができます。令和2年度はアユのつかみどりは実施されていませんが、実施を再開するときには検討下さい。 <p>4 今後の検討課題</p> <p>釣り人の減少にともなう、河川環境の悪化の懸念が明記されています。つまり、釣り人がいることで、河川環境が良くなっていたと読めますが、逆に釣り人による、釣り針やゴミの放置などの課題も多くあったはずで、釣り人の減少にともなう河川環境の悪化について具体的に記載いただいた方が検討課題として明確になります。</p>	<p>鮎つかみイベントの鮎は、地元の漁協が放流している鮎を準備しております。</p> <p>イベントは環境保全意識の向上を図ることも目的としておりますので、実施の際には参加者への伝え方を検討します。</p> <p>釣り人が減少することは、河川清掃等を行う漁協の活動低下のほか、市民が河川へ訪れる機会が減少することで、河川環境への関心が希薄化する懸念があります。釣り人の減少が直接、河川環境の悪化を招くわけではないため文言を修正します。（中山間政策課）</p>

	雨天時 (本調査)	晴天時	(参考) 環境基準
pH	6.9~7.5	7.3	6.5~8.5
SS	27	2	25以下
COD	7.8	2.3	-
全窒素	1.2	0.83	-
全燐	0.11	0.038	-